

## 感震ブレーカー

強い揺れを感知して自動で電源ブレーカーが落ちる装置。

地震が原因で発生する火災のうち6～7割を電気火災が占めていることが阪神大震災や東日本大震災の調査でわかっている。

地震により一旦止まった電気が復旧する時に、住宅の中で電気ストーブが倒れていたり電気系統に損害が起きていたりすると、再び電気が通った時にそこから火災になるリスクがある。

それを防ぐために、強い地震が起きた時に自動でブレーカーを落とし、通電しても火災になることを防ぐ効果がある。



パナソニック(Panasonic)J型 ELB2P1E30A2.5kA 工事費を含め 50,000円程度かかる

ブレーカーボックス内に取り付けるタイプで電気工事技師による取り付け工事が必要



大和電器 感震ブレーカー 震太郎 X5029 約9,000円

アースピンまたはアース接続端子のあるコンセントに自分で取り付けられるタイプ



アースピンの穴があるコンセントの場合



アースピンの穴がなくアース接続端子の有るコンセントの場合



リンテック 21 GV-SB1 感震ブレーカーアダプターヤモリ 約2,500円

配電盤中のブレーカーの上部に接着固定し、揺れを感知するとバンドがブレーカーをOFFにする仕組みで、自分で取り付けられるタイプ

感震ブレーカーについて記載のある新聞記事の例

- |                              |                 |
|------------------------------|-----------------|
| ① 遅れる「木密」防火対策 消火設備の有線導入9%    | 日経新聞 2025年1月4日  |
| ② 能登半島地震、輪島朝市火災は電気配線原因か      | 日経新聞 2024年2月15日 |
| ③ 木造密集地に火災リスク 石川・輪島で200棟延焼   | 日経新聞 2024年1月3日  |
| ④ 関東大震災100年、「災害のデパート」追う執念の研究 | 日経新聞 2023年8月9日  |
| ⑤ 江戸川区、感震ブレーカー30万戸に無償配布      | 日経新聞 2023年6月7日  |